講義科目名称: 構造力学演習 CV4-B19-50 科目コード: 21570

英文科目名称: Exercises on Structual Mechanics

英文科目名称: Exercises 開講期間		配当年 単位数		科目必選区分		
2年後期		2 2	<u></u> 单位级 2			
担当教員		<u> </u> ^	<u> </u>			
国教 知徳 富永 知徳						
苗小 和間						
添付ファイル						
140/13 / / 1/h						
	T					
講義概要	土木構造物には、機械など他分野と比較すると、はるかに長期間に使用され、また、人知が及ばず予測困難かっ大きな外力が作用する。そのような外力に対し、確実に耐えることのできる構造物を作るための基本的な能力を習得することを目的とする。構造力学演習では、構造力学で学んだ、力の性質、安定についての基本的な概念、構造物の反力・部材断面力および発生応力の算定方法を、多くの演習問題を解く事によって、さらに理解度・応用力を深める。また、グループワークを活用することで、習熟度も高める。この科目は、土木構造分野の実務経験のある教員が担当する科目である。					
授業計画	第01回 力のつり合いとモーメント ・構造力学は、団体材料を使って構造物を形成するための基礎知識を形成するものであり、その					
	・構造力学は、固体材料を使って構造物を形成するための基礎知識を形成するものであり、その知識はコンクリート工学や土質力学にとっても基礎的部分となる。そのため、土木工学科における最重要科目の一つと言える。 ・力のつり合いについて学習する。 ・モーメントの概念を理解する。 AL①					
	第02回	静定はり		An Ly		
	・静定と不静定の違いを理解する。 ・単純ばりの支点反力と断面力について計算できるようになる。 AL①					
	第03回	静定はり(その2) ・断面力を理解する。				
		・片持ちばりの支点反力と断面力について計算できるようになる。 AL①				
	第04回	静定はり				
		・分布荷重と集中荷重について理解する。・ゲルバーばりの支点反力と断面力について計算できるようになる。AL①				
	第05回	静定はり ・影響線 AL(1)		作成できるようになる。		
	第06回	断面の諸量	量(その1) 新面2次モーメン	トを計算できるようになる。		
	第07回	断面の諸島	量(その2) 犬の断面について、	、発生応力を計算できるようになる。		
	第08回	はりの応え ・曲げに。 ・はりのt	せん断応力につい	生する直応力について理解する。 て理解する。		
	第09回	はりの応え ・たわみ る	力とたわみ(その) と曲げモーメント	の関係について理解する。 2) の関係の微分方程式について理解し、計算できるようになる。 微分関係について理解し、計算できるようになる。		
	第10回	トラス	断面法を用いて	トラスの断面力を計算できるようになる。		
	第11回	静定ラース		いて理解し、支点反力、断面力を計算できるようになる。		
	第12回	エネルギー	ー原理(その1) 里、カスティリア [、]	一ノの定理について理解する。		
	第13回	エネルギー	−原理(その2) 事の原理について	理解する。		
	第14回	不静定構造	造(その1) 構造の解法につい	て理解する。		
	第15回	不静定構造	_ 、 - /	定ばり、不静定トラスの解き方について理解する。		
	第16回	期末試験 授業中に角	解いた問題をベー 生応力、はりの影	スに出題し、授業の理解度を確認する。問題は、はりの支点荷重、断響線、トラス問題と授業範囲全般で出題を行う予定。		

授業形態	・構造力学の授業を簡潔にふりかえる説明 ・理解を促進するため、グループ演習を適宜活用 アクティブラーニング:①14回,②0回,③0回,④0回,⑤0回			
達成目標	1)はり、トラス、ラーメンについて、反力、断面力、影響線の計算ができるようになる。2)断面力から発生応力を計算できるようになる。			
評価方法・フィー ドバック	・期末試験 100点 ・原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する			
評価基準	秀(90点以上),優(89~80点),良(79~70点),可(69~60点),不可(59点以下)			
教科書・参考書	構造力学演習、野村卓史、コロナ社			
履修条件	構造力学を履修のこと.			
履修上の注意	・電卓を持参すること.			
準備学習と課題の 内容	なし			
ディプロマポリ シーとの関連割合 (必須)	知識·理解:80%, 思考·判断:0%, 関心·意欲:10%, 態度:10%, 技能·表現:0%			
DP1 知識・理解				
DP2 思考判断				
DP3 関心意欲				
DP4 態度				
DP5 技能・表現				